

サイバーセキュリティ関連情報（6月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ 聖火リレーの偽サイト 鳥取県版も確認！

現在、東京五輪聖火リレーが全国各地で開催中ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネットのライブ配信による観覧が求められている中、全国的に聖火リレーのライブ配信を装った偽サイトが確認されています。

鳥取県内においても、5月21日(金)、22日(土)の2日間にわたり、聖火リレーが開催されたところですが、両日、ネット上に偽サイトの鳥取県版が確認されました。

偽サイトは、「鳥取県 県 聖火リレー放送(LIVE)」というタイトルがつけられ、再生ボタンをクリックするとID、パスワード、氏名、クレジットカード情報などの入力を求められるもので、個人情報等を盗み取る「フィッシング」サイトと認められます。

個人情報等を入力してしまった場合、利用者本人になりすまされて高額商品を購入させられたり、不正送金されてしまったりするなどの被害にあう可能性があります。

今後も全国各地で開催が予定されていることから、このような偽サイトにアクセスしてしまっても、氏名、クレジットカード番号、口座番号などの個人情報や電子マネーの番号などを絶対に入力しないで下さい。ご不安な場合は、警察に相談して下さい。



偽サイト（鳥取県版 トップ画面）

偽サイト（ID、パスワード入力画面）

○ ランサムウェアによるサイバー攻撃に関する注意喚起

ランサムウェア(Ransomware)とは、「Ransom（身代金）」と「Software（ソフトウェア）」を組み合わせで作られた名称で、コンピュータウイルスの一種です。このウイルスに感染するとパソコン内に保存してあるデータが暗号化されて使えない状態になり、犯人はその解除と引き換えに身代金を要求し、支払いを拒んだ場合には、データを公開するなど脅迫してきます。

近年、日本企業がこの攻撃を受けて機密情報が公開されるケースが相次いでおり、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が注意を呼び掛けています。

ランサムウェアの侵入経路として、コロナ禍におけるリモートワーク環境の不備によるものやVPNなどのネットワーク機器等の脆弱性を悪用したものなどがあり、これらを踏まえた感染防止対策や被害軽減対策のほか、迅速に検知するための対応策、インシデント対応を行うための体制なども必要となります。

なお、万が一被害にあった場合は、被害拡大防止の観点から、安易に身代金の要求に応じること無く、警察にご相談下さい。

参考：NISC <https://www.nisc.go.jp/active/infra/pdf/ransomware20210430.pdf>



引用：IPA

ランサムウェアのファイル暗号化の動作概要

